

# ポーランド・マクロ経済情勢

2018年10月  
在ポーランド日本国大使館  
経済班

## ポイント

### 1 経済成長率は上昇基調

2017年のGDP成長率は4.8%（推計）で、経済成長率は大幅に伸びている（2016年は2.9%）。政策金利は史上最低の1.5%を維持している。（注：中央統計局（GUS）は、GDP成長率の推計値を当初発表の4.6%から4.8%に上方修正した。）

### 2 生産、消費は拡大傾向

8月の鉱工業生産は前年同月比5.0%増。小売販売は対前年同月比6.7%増で、生産及び消費は拡大傾向が続いている。小売販売は4月に一旦伸びが鈍化したものの、5月以降は対前年同月比5%以上の伸びを示している。

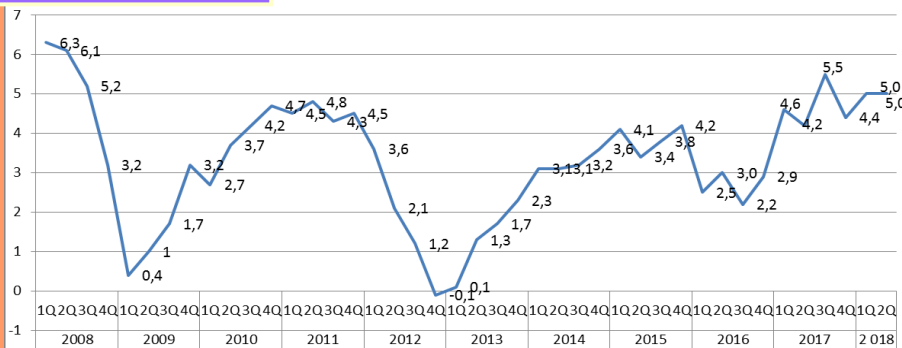
### 3 物価は上昇傾向

9月の消費者物価指数（CPI）は、対前年同月比1.9%上昇。2018年2月から2ヶ月連続で中央銀行のインフレ目標値2.5±1%目標値を下回ったが、4月以降は目標値の範囲内で推移している。

### 4 失業率は過去最低水準、賃金は上昇継続

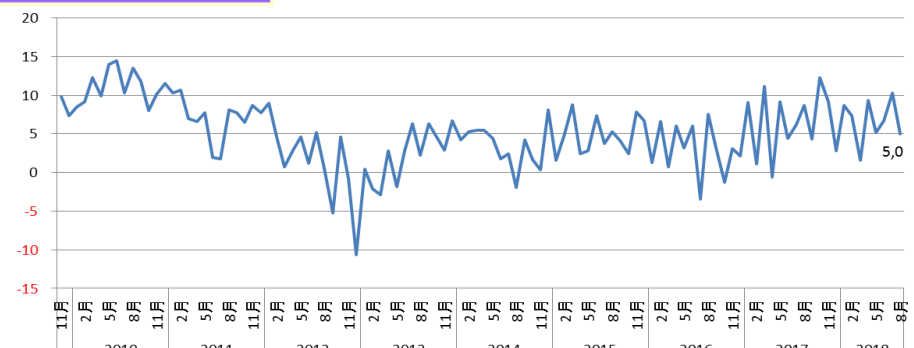
8月の失業率は5.8%、平均賃金上昇率は対前年同月比6.8%増。失業率は前月より微減した。

## 経済成長



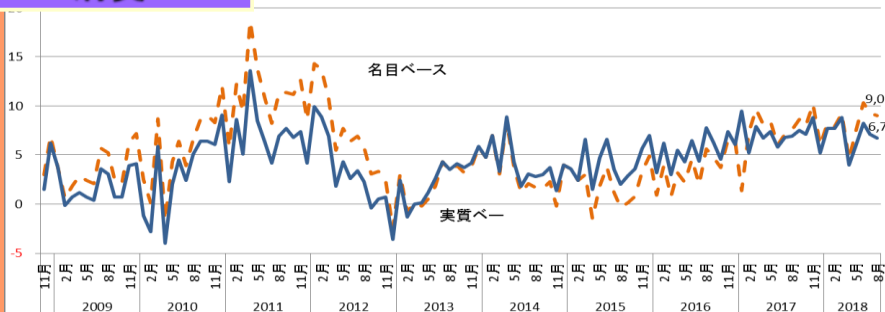
経済成長率は2016年よりも大幅に上昇。消費の伸びやEU基金を活用したインフラ整備等が寄与。

## 生産



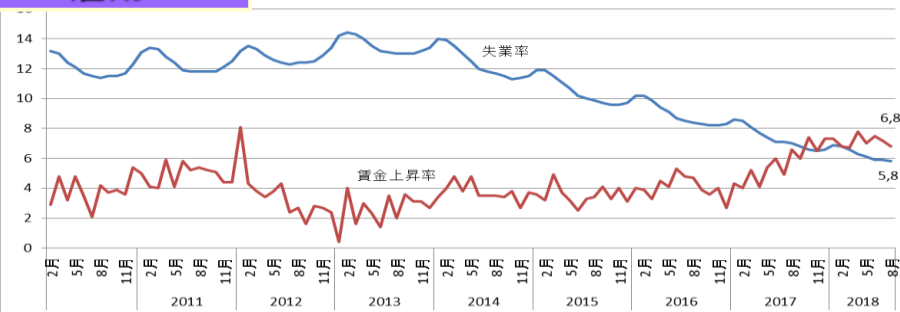
鉱工業生産は2017年4月にマイナスとなったが、その後順調に拡大を続けている。

## 消費



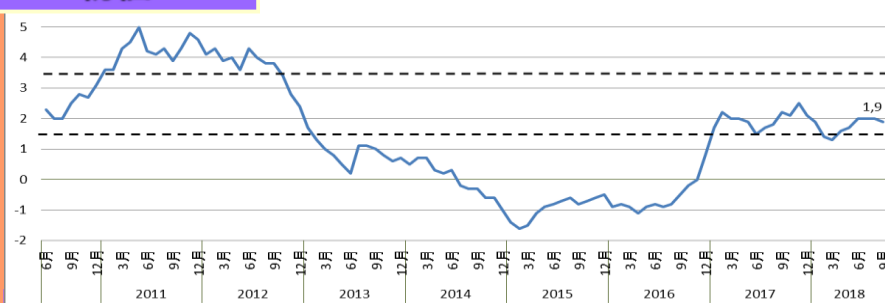
小売販売は対前年同月比6.7%増と引き続き拡大傾向にある。

## 雇用



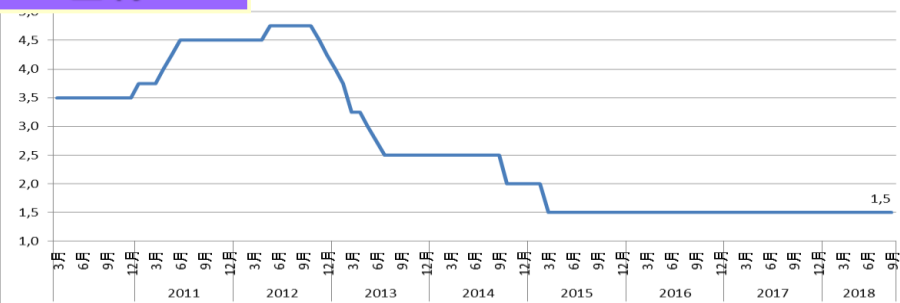
8月の失業率は5.8%と前月より微減。平均賃金上昇率は対前年同月比6.8%増と引き続き上昇傾向にある。

## 物価



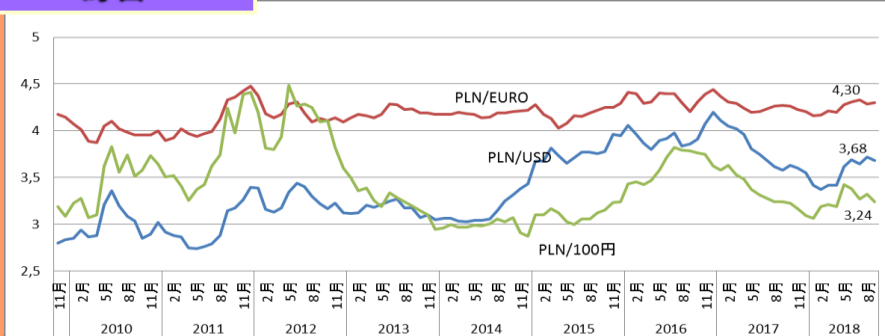
9月のCPIは対前年同月比1.9%上昇。中央銀行のインフレ目標値2.5±1%目標値の範囲内に収まっている。

## 金利



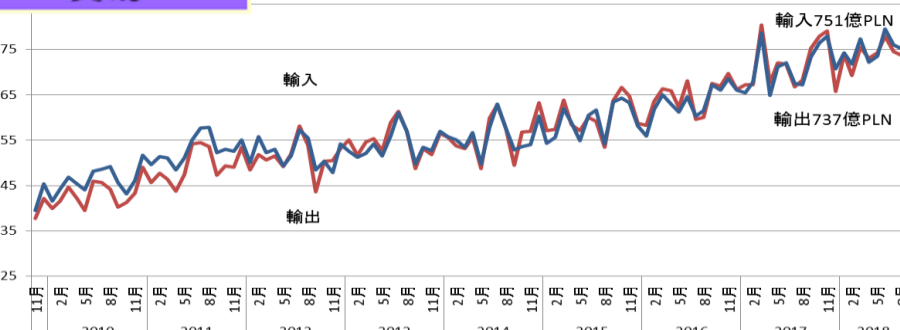
政策金利は2015年3月以来、史上最低の1.5%を維持している。

## 為替



9月の平均為替は、対日本円で3.24ズロチ及び対ドル(3.68ズロチ)とそれぞれズロチ高となり、対ユーロ(4.30ズロチ)では、ズロチ安が進んだ。

## 貿易



8月の輸出は737億ズロチ、輸入は751億ズロチで14億ズロチの貿易赤字となった(7月は15億ズロチの貿易赤字)。